

## CSV サーベイランスネットワーク 書籍出版のご案内

### 「CSV 経営 社会的課題の解決と事業を両立する」

■著者: 赤池学(CSV 座長)、水上武彦(CSV 顧問)

■企画・編集: CSV サーベイランスネットワーク

■発行日: 2013年7月11日(木)

株式会社 JTB コーポレートセールス(東京都新宿区、代表取締役社長: 川村益之)は、2012年1月から CSV への取組みに先進的な企業 12社と共に、CSV サーベイランスネットワークを創設し、日本における CSV 概念の普及啓発ならびに CSV に資するビジネスモデル開発を目的に活動をスタートし、2年目を迎える 2013年4月より活動を本格的化しています。

活動の一環として CSV サーベイランスネットワークでは、日本で初めて CSV 経営をテーマとした書籍を出版いたします。第1章では、CSV とは何かをわかりやすく解説し、第2章では先進的な企業の CSV 取組み事例を紹介、第3章では地域発の CSV ビジネスとして地域自治体の先進的な取り組みを紹介いたします。

CSV(Creating Shared Value=共通価値の創造)とは、社会課題の解決と企業の事業の両立を図ることで社会と企業が共に持続的な発展をしていくという新たな経営戦略で、最近多くの企業経営者の注目を集めています。

またあわせて7月19日には、第1回 CSV サーベイランスネットワーク・シンポジウムを開催します。オープニングセッションでは米国からゲストを招いて、CSV とはそもそも何か、CSV によって社会や経済をどう変えていくことができるのか、「CSV による社会課題の解決とビジネスモデル開発の可能性」について弊会の水上顧問と共に語って頂きます。

基調講演では今年の1月に日本で初めて CSV の専門部署を新設した麒麟株式会社の磯崎社長より、大手企業としての CSV への取組みをお話いただきます。

そしてパネルディスカッションでは、省庁、地域自治体、企業とそれぞれの立場での CSV への具体的な取組み事例を紹介し、「社会課題の解決と事業の両立 ~CSV による日本の発展」について議論を深めていきます。

※ シンポジウム詳細はこちらを参照下さい <http://www.csv-workshop.com/event/>

※ CSV サーベイランスネットワーク HP <http://csv-workshop.com/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

JTB広報室 TEL: 03-5796-5833

<お客様からのお問い合わせ先>

JTBコーポレートセールス 営業推進本部 担当: 浅倉、松本、綿石、小寺

TEL: 03-5909-8596



全国の書店でお求めになれます。

書名：CSV経営—社会的課題の解決と事業を両立する  
 著者：赤池 学、水上 武彦  
 企画・編集：CSVサーベイランスネットワーク  
 定価：本体2,520円（税込） ISBN978-4-7571-2314-4  
 発行日：2013年7月11日  
 出版社：N T T出版

<p><b>序章</b> 顧客満足から人間充足の実現を目指して</p> <p><b>第1章</b> 次世代経営戦略としてのCSV</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそもCSVとはなにものか。</li> <li>・CSVの3つのアプローチ（基本コンセプトと事例）</li> <li>・CSVをどう進めるか。</li> </ul> <p><b>第2章</b> すでに動き出している日本のCSV</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の取り組み事例                     <ul style="list-style-type: none"> <li>–キリン株式会社</li> <li>–清水建設株式会社</li> <li>–株式会社電通</li> <li>–日本ユニシス株式会社</li> <li>–三菱地所株式会社</li> <li>–住友林業株式会社</li> <li>–株式会社LIXIL</li> <li>–株式会社JTB ポレトセル</li> <li>–ネピュレ株式会社</li> <li>–株式会社ユーグレナ</li> <li>–NPO法人物ズデザイン協議会</li> </ul> </li> </ul> <p><b>第3章</b> 地域発のCSVビジネス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県は産官学連携のホットスポット</li> <li>・人口減少と高齢社会を見据えた富山市のまちづくり</li> <li>・北九州市のスマートシティ実証実験</li> </ul> <p><b>第4章</b> 明日の日本への道しるべ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の子孫たちのために、新しい問いを立てる問いを立てよう</li> <li>・「分かち合いの経営＝シェアード・バリュー」が未来を創る</li> </ul> <p>おわりに - 公益と事業益を満たす新しい産業生態系の時代</p>	<p>（赤池座長）</p> <p>（水上顧問）</p> <p>社会をよくして、キリンも強くなる                  温室効果ガス排出削減へのチャレンジ                  農産産業における企業と原材料調達地域の連携                  「smart oasis」でEV・PHVの普及に貢献                  「空と土プロジェクト」とCSV                  「Project EARTH」による社会貢献型植林事業                  実証された「ウインドキャッチャー効果」                  社会・地域の課題解決と事業の両立を目指す                  農と食への地域貢献事業                  バイオベンチャーの大いなる挑戦                  子どもを豊かに育む社会をデザインする</p>
---	--